

## 編集 後記

6年間編集委員を担当した私の領域でみると、最初は介護保険制度導入に伴う在宅療養高齢者のケアに関する投稿論文が多かったが、最近では本号にも掲載されているように高齢者の介護予防事業に関する投稿論文が多いなど、常に人々や社会の健康ニーズと密接に関連し、その方法や要因等を科学的根拠に基づいて提示する等を学会誌は基本にしていると思う。

投稿された幾つかの論文については査読委員と共に詳細に読み、雑誌に掲載される過程を支援してきた。一方掲載されないまま著者に戻された論文もあった。編集委員長の方針及び査読指針により査読は会員の研究論文作成能力の育成も含めて教育的査読を行うことになっている。そのため査読委員の査読コメントは誤字脱字を含めて研究方法、データから結論を導く過程における問題点矛盾点を専門的視点から詳細に分析し、修正方向を示唆した内容となっている。それに対して著者からの回答はそのコメントを参考に全面的に修正した論文と、コメントの一部だけを取り入れて部分修正した論文とが再投稿されてくる。努力して研究調査を企画し実施した著者にとっては、その領域の専門家であっても第三者のコメントは受け入れ難い場合もあるかもしれないが、助言として真摯に受け止め、論文を完成させる態度も必要であると思う。

(小西美智子)

### 1号予告(第53巻・第1号)

#### 論壇

ヘルスプロモーションの基礎的諸概念に関する考察……………湯浅資之, 他

#### 総説

米国がん登録修正法の特徴からみた日本の地域がん登録事業の法的現状と課題……………田中英夫

#### 原著

愛知県における脳卒中の病型別合併症等と予後について

脳卒中登録(1993年-2000年)のデータから……………山口通代, 他

#### 資料

介護支援専門員がケースへの対応に関して抱く困難感とその関連要因

12種類のケース類型を用いて……………吉江 悟, 他

インターネット・アンケートを利用した医学研究本邦における現状……………康永秀生, 他

修正版 Perceived Health Competence Scale (PHCS) 日本語版の信頼性と妥当性の検討

……………戸ヶ里泰典, 他

### 室内環境学会主催のシンポジウムのご案内

タイトル：高齢社会時代の室内環境(司会 柳沢 幸雄(東京大学))

演 題：「高齢社会の『住まいと健康』」

鈴木 晃(国立保健医療科学院)

「居住環境における高齢者の事故」

直井 英雄(東京理科大学)

「高齢者施設における臭気の特性と対策」

光田 恵(大同工業大学)

「高齢者に関わる行政事例」

國弘 明子(品川区保健医療センター)

日 程：平成18年2月1日(水), 13:00-16:50

会 場：すまい・るホール(東京都文京区後楽1-4-10), JR 水道橋駅から徒歩5分

参加費：3千円(室内環境学会会員は2千円)

問い合わせ先：室内環境学会事業委員会 牧野国義

メールアドレス：Kuniyoshi\_Makino@member.metro.tokyo.jp